

統計調査ニュース

平成29年（2017）12月

No.373



我が国の労働力の現状のよりの確な把握に向けて ～平成30年1月調査分から労働力調査を見直し～

総務省統計局統計調査部長 佐伯 修司

労働力調査の意義

今回大きな見直しを行う労働力調査は、国民の就業及び不就業の状態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的としており、雇用情勢を的確に把握するためにはなくてはならないものです。その結果は、毎月閣議に報告を行っており、完全失業率は、厚生労働省が作成する有効求人倍率と並んで、政策判断に当たっての重要な指標となっています。

労働力調査の変更

労働力調査は、平成30年1月から新たな調査票で調査を実施するなど大きな変更を行います。その目指すところは、①従業上の地位を雇用形態（正規の職員・従業員、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員など）・雇用契約期間（定めがない、定めがある（1か月未満から5年超までの7段階））により把握し、多様化する雇用形態に対応した詳細な統計を作成すること、②国際基準を踏まえ、複

数の未活用労働に関する指標^(※)により、多角的に雇用情勢を把握する統計を作成することです。

こうした取組により、現在進められている働き方改革の推進に資するデータを提供することができるよう考えています。なお、時系列比較の観点から、現行の完全失業率については、従前の方法による作成を継続します。調査票を切り替える準備は既に始まっていますが、関係者の皆様におかれては、変更点の十分な確認・徹底をよろしくお願いいたします。

(※) ①就業者であるが「もっと働きたい」と考えている方、②15歳以上で調査期間の1週間に少しも仕事をしなかった方のうち「働きたい」と考えている方などを把握して作成

御礼と今後のお願いについて

総務省統計局では、調査の実施に当たって関係者の皆様の声に耳を傾け、作成・利用両面でできるだけ多くのニーズに応えられるよう努力してきました。今後とも、社会経済の実相を捉え、役立つ統計を関係の皆様と力を合わせて作り

続けていきたいと思えます。また、統計数値の分析にも力を入れていきます（統計局ホームページで「統計トピックス」等を公表）。

社会経済の羅針盤として、ニーズに対応した正確でタイムリーな統計を使いやすい形で提供していくことの大切さは言うまでもないことです。しかし、今年の夏から統計の作成・公表に直接携わる立場に立ってみて、それは一朝一夕では実現できず、関係者の皆様のためまない努力があって初めて歩みを進めることができることを改めて痛感しています。

今回の見直しに当たっても、本当に多くの関係者の皆様のお力があったと承知しており、心からの感謝を申し上げます。また、皆様の引き続きの御理解・御協力と忌憚のない御叱正・建設的な御提案をお願い申し上げます。

目次

我が国の労働力の現状のよりの確な把握に向けて ～平成30年1月調査分から労働力調査を見直し～	1
第67回全国統計大会を開催しました！	2
第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」の受賞団体の決定	4

国連アジア太平洋統計研修所 第2回「ポスト2015開発目標のモニタリングに係る統計の作成能力の向上」コースの実地研修について	5
「統計ヘッドラインー統計局月次レポートー」を御活用ください！	6
中核市発とうけい通信 ^④	7

第67回全国統計大会を開催しました！

全国統計大会は、「統計の日」(10月18日)の行事の一つとして、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、我が国の統計の進歩・発展のみならず、統計の普及や活用に資することを目的に開催しています。

67回目を迎える今大会は、総務省及び公益財団法人統計情報研究開発センターの主催により、平成29年11月13日(月)、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールにおいて、野田総務大臣も出席し、全国から600名を超える統計関係者の参加の下、開催しました。

開会

開会に当たって、まず、主催者として、野田聖子総務大臣から挨拶がありました。その後、公益財団法人統計情報研究開発センターの杉浦正健会長から挨拶があり、来賓として東京都の熊谷克三統計部長から祝辞を頂きました。



主催者挨拶をする野田総務大臣

各種表彰

平成29年度に統計調査の実施、統計の普及等に功績のあった方々や団体に対し、地方公共団体における統計利活用表彰、「統計調査功績者」各省大臣表彰、第65回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰、大内賞受賞者表彰、「統計の日」標語入選者表彰が行われました。



奥野総務副大臣が受賞者に表彰状を授与する様子

受賞団体・受賞者

《第2回地方公共団体における統計利活用表彰》

総務大臣賞 静岡県(こども未来課)
 統計局長賞 東京都豊島区
 特別賞 茨城県、静岡県(健康増進課)、佐賀県

《「統計調査功績者」各省大臣表彰》

総務大臣表彰 金井 直美氏(千葉県)
 和田 まき代氏(三重県)
 厚生労働大臣表彰 伊藤 恵美子氏(京都府)
 農林水産大臣表彰 土居 米男氏(広島県)
 経済産業大臣表彰 柴田 幸徳氏(長崎県)
 国土交通大臣表彰 株式会社シブヤ建設工業(秋田県)

《第65回統計グラフ全国コンクール》

総務大臣賞
 福永 嘉恩さん(大阪府吹田市立千里丘中学校3年生)
 文部科学大臣賞
 三宅 麗さん(兵庫県神戸市立友が丘中学校3年生)
 日本統計学会会長賞
 上岡 美月さん(大分県立国東高等学校1年生)
 上岡 史子氏(一般)
 日本品質管理学会賞
 小川 芽生さん(新潟県上越市立春日小学校5年生)
 特選
 川村 怜愛さん(茨城県土浦市立荒川沖小学校2年生)
 前田 壮一郎さん(香川県高松市立太田南小学校3年生)

《大内賞》

榊原 和子氏(福島県 統計調査員)
 日根 裕子氏(和歌山県 統計調査員)
 美谷島 和子氏(長野県 統計調査員)
 吉原 節子氏(福岡県 統計調査員)

《平成29年度「統計の日」標語》

特選
 近松 清司氏(滋賀県守山市統計調査員)

受賞者謝辞

各種表彰の後、受賞者代表として、「統計調査功績者」において総務大臣から表彰された千葉県の金井直美氏から謝辞が述べられました。

統計・データサイエンス活用セミナー

表彰式終了後、「統計・データサイエンス活用セミナー」を開催しました。

このセミナーは、受賞者による実績や作品を広く紹介することにより、統計の進歩・発展と普及啓発に資することを目的とし、慶應義塾大学大学院教授の渡辺美智子氏の司会により、地方公共団体における統計利活用表彰受賞2団体及び第65回統計グラフ全国コンクール大臣賞受賞者によるプレゼンテーションが行われました。

《地方公共団体における統計利活用表彰》

総務大臣賞を受賞した静岡県の「ふじのくに」少子化突破戦略の羅針盤について、静岡県健康福祉部理事の河森佳奈子氏が発表しました。

続いて、統計局長賞を受賞した東京都豊島区の「GISポータル構築による業務改善」について、東京都豊島区都市整備部都市計画課街づくり情報コーナー主任主事の酒井和広氏が発表しました。



統計利活用受賞団体の発表の様子

《第 65 回統計グラフ全国コンクール》

総務大臣賞を受賞した、福永嘉恩さん（大阪府吹田市立千里丘中学校3年生）が、受賞作品「私に出来る社会貢献」について発表しました。

高齢社会を迎えた日本にとって社会福祉の在り方を考えるときに、互いに助け合う、互助のシステムは欠かせません。世界の中において日本で進んでいない互助に対して、寄付の視点から、公的統計や民間の統計を活用してその実態をまとめました。

まずは自分にできることから始めようという提案も頼もしく、ゆっくり丁寧に発表されたことによって来場者の方に分かってもらえるように発表されたことについてすばらしいものでした。

発表の後、司会の渡辺美智子氏から「この作品を作成されてから、いくら寄付しましたか？」という質問に対し、福永さんから「100円です。」との回答に、会場はほほえましい空気に包まれました。

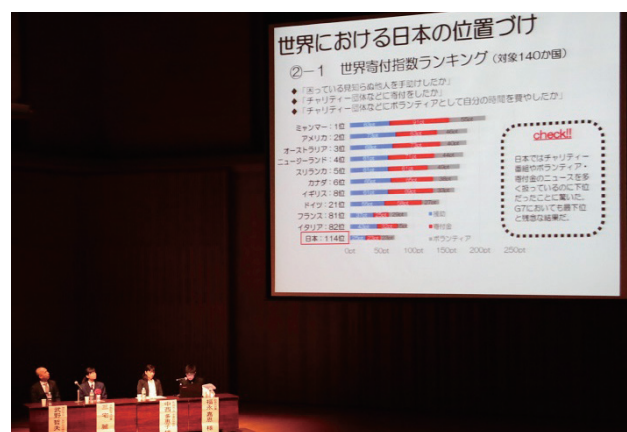
文部科学大臣賞を受賞した、三宅麗さん（兵庫県神戸市立友が丘中学校3年生）が、受賞作品「私たちにも出来る！外来生物の被害予防」について発表しました。

三宅さんは、この作品を作成するに当たり外来生物への意識と被害の実態を身近な中学生へのアンケート調査や公開されている統計資料からまとめています。

外来生物のイラストを交え、迫力のあるインフォグラフィックスの技術を多用し、知ってはいるけれど“関心がない”では済まされないことを『被害予防3原則（「入れない」「捨てない」「拡げない」）』の提案とともに発表しました。

外来生物である虫のイラストが非常に迫力のある構図となっていることから、司会の渡辺美智子氏から「虫は好きですか？」との質問に対し、三宅さんから「虫は嫌いですが虫の絵を描くことは好きです。」との回答に、会場は納得の空気に包まれました。

両作品とも、作品を作るきっかけとなった動機や作成過程における苦労した点など、受賞者の作品に対する熱い気持ちが伝わる発表となり、司会者や指導に当たった先生方のコメントも交えて会場は非常に盛り上がり、盛大な拍手が送られました。



統計グラフ全国コンクール受賞作品の発表の様子

統計グラフ全国コンクール入選作品の展示

会場入口には、第65回統計グラフ全国コンクール入選作品を展示しました。御来場になられた方々が熱心に御覧になられるとともに、多くの受賞者が御自身の作品の前で記念撮影をされていました。

第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」の受賞団体の決定

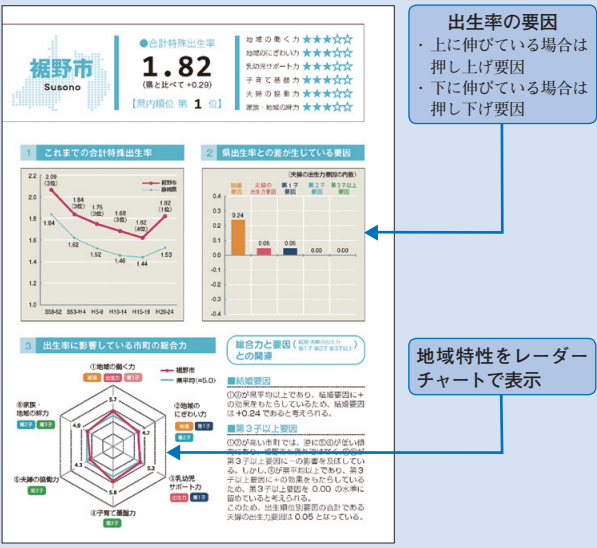
総務省では、客観的な統計データに基づく確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、第2回「地方公共団体における統計利活用表彰」を実施しました。

厳正な審査の結果、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞を決定し、第67回全国統計大会（11月13日）で表彰しました。以下で各受賞団体の取組を御紹介します。

【総務大臣賞：静岡県】

ふじのくにに少子化突破戦略の羅針盤

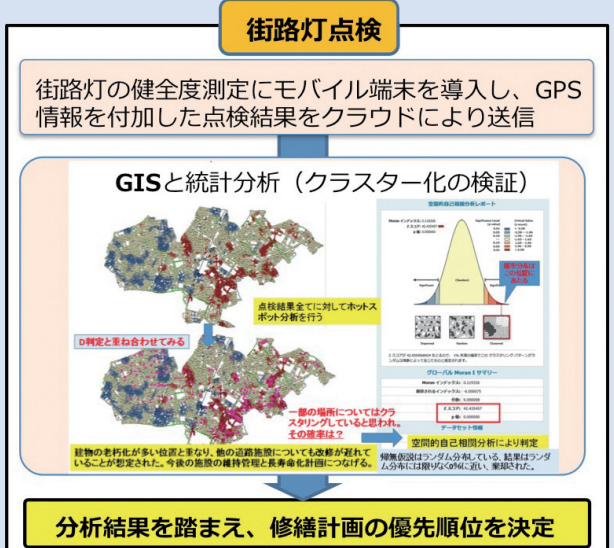
地域の特性や施策の実施状況など合計特殊出生率に影響を与える要因を市町別に分析し、分析結果を「見える化」



【統計局長賞：東京都豊島区】

GISポータル構築による業務改善

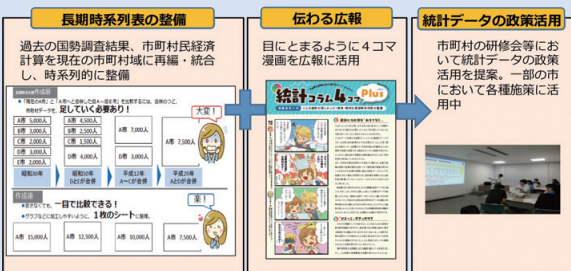
地図上に様々な情報を組み合わせて表示するGIS※の仕組みと統計分析を活用し、業務の効率化等を実現
 ※ GIS：Geographic Information System（地理情報システム）の略



【特別賞：茨城県】

いばらき型「ターゲットに訴求する統計データマイニング」

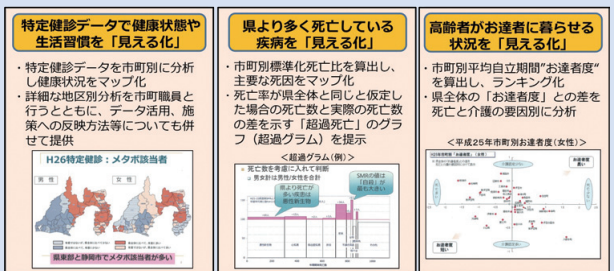
現在の市町村域に合併前のデータを再編・統合し時系列的に整理。さらに「4コマ漫画」などによる「伝わる」広報を行い、データの政策活用を推進



【特別賞：静岡県】

健康課題の「見える化」～検診結果65万人ビッグデータをマップ化～

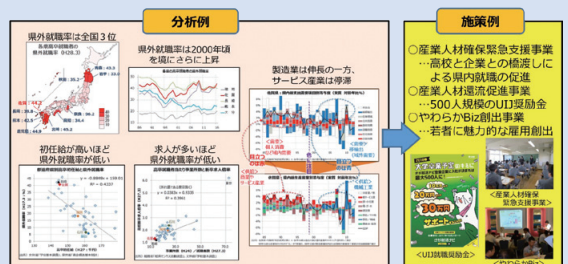
人口動態統計や特定健診データを複合的に市町別に分析し、生活習慣病や主要な死因、平均自立期間（お達者度）等を「見える化」



【特別賞：佐賀県】

「人材流出県」からの脱却へ向けた産業人材の定着・還流プロジェクト

高卒者の「人材流出」の要因・背景を統計データを用いて分析し、その結果を踏まえた施策を実施



国連アジア太平洋統計研修所

第2回「ポスト2015開発目標のモニタリングに係る統計の作成能力の向上」コースの現地研修について

国連アジア太平洋統計研修所とは

国連アジア太平洋統計研修所(SIAP)は、開発途上国の政府統計職員を養成することなどを目的とした、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)の補助機関です。千葉県千葉市にあり、総務省が招請国政府の協力機関となっています。1970年の設立以来、アジア太平洋諸国だけでなく、アフリカや中南米も含めた、世界中の政府統計職員約1万6000人を養成してきました。

第2回「ポスト2015開発目標のモニタリングに係る統計の作成能力の向上」コースの現地研修の実施

このコースは、持続可能な開発目標(SDGs)の達成状況のモニタリングと評価に不可欠なタイムリーかつ精度の高い公的統計の整備・充実を図る見地から、アジア太平洋地域等の開発途上国の政府統計職員に対して、統計調査の設計・分析・公表における基礎理論と実務及び主要な公的統計(経済、人口・社会、農業、環境)の作成・解釈の基準や枠組みについて研修を行い、知識及び公的統計の作成能力を向上させることを目的としています。今年度は、バングラデシュ、カメルーン、コンゴ民主共和国、ガーナ、インドネシア、イラク、キルギス、ラオス、マレーシア、ミャンマー、サモア、ソロモン諸島、スーダン、タジキスタン、東ティモールの15か国から26名の研修員が参加しています。

本研修コースの一環として、北海道及び宮城県の2班に分かれ、道県の協力を得て、平成29年11月13日(月)～15日(水)の3日間にわたり、地方公共団体における統計業務についての研修、家計調査世帯への訪問などを行いました。

◆ 北海道 現地研修日程 ◆

11月13日(月)

村上北海道情報統計局長表敬、道勢概要、業務概要、家計調査の概要説明、統計課執務室視察



統計課執務室視察

11月14日(火)

家計調査世帯訪問、施設訪問、質疑応答、意見交換会



調査区視察

11月15日(水)

事業所・施設訪問



施設訪問

◆ 宮城県 現地研修日程 ◆

11月13日(月)

山田宮城県副知事表敬、県勢概要、業務概要、家計調査の概要説明、統計課執務室視察



副知事表敬

11月14日(火)

施設訪問、家計調査世帯訪問、質疑応答、意見交換会



家計調査世帯訪問

11月15日(水)

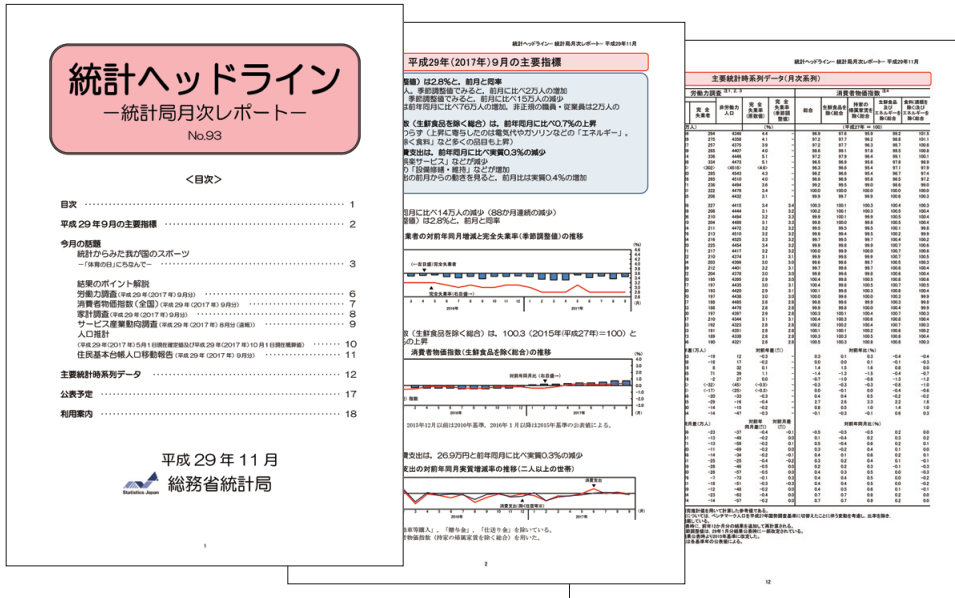
事業所・施設訪問



施設訪問

「統計ヘッドラインー統計局月次レポートー」を御活用ください！

総務省統計局では、毎月公表する調査結果（労働力調査、消費者物価指数、家計調査など）を始め、統計局の所管する統計の最新の動きがひと目でわかるレポートとして、「統計ヘッドラインー統計局月次レポートー」を統計局ホームページから毎月発信しています。結果のポイント解説、主要統計の時系列データ、公表予定などを掲載していますので、統計局の最新情報としてお役立てください。



＜毎月の主要指標＞

毎月公表する労働力調査、消費者物価指数及び家計調査の結果の中から、失業率、消費者物価指数、世帯の消費支出などの動きがひと目でわかる時系列グラフを掲載しています。

＜今月の話題＞

労働力調査などの経常的に行われている調査の結果だけではなく、国勢調査や経済センサスのような周期的に行われる調査の結果の中から、人口や事業所数など話題となる最新の統計情報を掲載しています。

＜結果のポイント解説＞

毎月公表している各調査の結果について、ポイントを絞って解説しています。各調査の特徴的なデータをグラフなどで確認できます。

＜主要統計時系列データ＞

各調査の主要項目を時系列にして掲載しています。最新のデータだけではなく過去のデータも確認できます。

＜今月のメッセージ＞

統計を利用されている皆様にもメッセージを発信しています。統計局からのメッセージをお役立てください。

＜公表予定＞

翌月までの公表予定を掲載しています。気になる統計データの公表予定を確認できます。

＜利用案内＞

各調査・統計に関するURLを掲載しています。当レポートを御覧いただき、更に詳細な結果をお知りになりたい場合は御利用ください。

「統計ヘッドラインー統計局月次レポートー」については、次のURLを御参照ください。
<http://www.stat.go.jp/info/headline/index.htm>

中核市発とうけい通信④

～統計データを生かし、更なる地域発展を目指します～

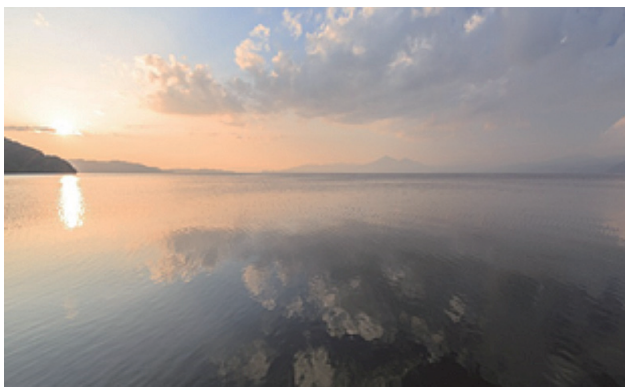
○ 未来を拓いた「一本の水路」

平成28年4月25日、猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリーが日本遺産に認定されました。安積疏水は那須疏水（栃木県）、琵琶湖疏水（滋賀県・京都府）と並ぶ日本の三大疏水の一つに数えられています。

明治9年、明治天皇の東北巡幸を機会にこの地を見聞した新政府の内務卿大久保利通は、殖産興業に熱心であり、安積開拓・安積疏水開さくが政府事業として有望であることを認め、明治12年10月、明治政府初の国営農業水利事業として実現されました。

また、延べ85万人の力により猪苗代湖から水を引いた安積疏水の開さくを機に、全国9藩（久留米・鳥取・岡山・松山・土佐・米沢（山形）・二本松・会津・棚倉）の旧士族など約2,000人が人口5,000人のまちに移住し、土地を切り拓いていきました。安積疏水は、大地を潤し、農作物などの生産量を大きく増やし、加えて、疏水を利用した水力発電所などが作られたことにより、工業用水と電力が確保され、製紙・紡績などの工業も発展しました。

人口約7,000人の小さな宿場町であった郡山は、現在、人口約34万人を有する中核市として飛躍的な発展を遂げ、県内の経済界をリードしており、また地理的条件のよさから「陸の港」として、人・モノ・情報が行き交う交流の拠点となっています。



猪苗代湖：別名「天鏡湖」と呼ばれる美しい湖

○ 楽都こおりやま

このような先人のフロンティア精神は、戦後の荒廃を乗り越え、発展を重ねていく中で、市民自らのムーブメントとして、「東北のウィーン」と言われる音楽都市の構築へと繋がってきました。

これらの活動が東宝映画から注目され、昭和42年、郡山市をロケ地に「百万人の大合唱」として映画化され、「東北のウィーン」として更に全国に知れ渡る結果となりました。学校音楽では安積黎明高校の全日本合

郡山市政策開発部ソーシャルメディア推進課



十六橋水門：疏水工事で最初に行われた、事業のシンボリックな構造物

唱コンクール34年連続金賞を筆頭に、市内の小・中・高校が毎年のように、合唱・合奏で優秀な成績を収めるまでになっています。

○ 統計をめぐる郡山市の状況

先人の努力により、飛躍的な発展を遂げてきた郡山市を、次の世代に引き継いでいくためには、直面する急速な少子高齢化の進展や、人口減少など様々な行政課題に対し行政だけではなく、市民と共に力を合わせて解決していかなければなりません。そのために、郡山市では公共データの積極的な公開と統計情報の利活用、そして統計調査の重要な役割を担う統計調査員の認知度の向上に取り組んでいます。

市が保有する行政情報を様々な方法で積極的に提供するための一つとして「市政見える化データ集（ビッグデータの活用）」を郡山市のウェブサイトに掲載しています。また、統計情報の利活用の取組として、市職員の統計的思考力、データ分析力を高めるため、今年度から統計に関する職員向け研修を実施します。さらに、統計調査業務を取り巻く環境が年々厳しさを増していることを考慮し、毎年発行している携帯に便利な統計資料「ポケット情報統計」に統計調査員の活動や理解促進のための情報を加え、周知・広報を図っていきます。

○ セーフコミュニティこおりやま

郡山市は統計情報、ビッグデータを生かせる安全安心なまちづくりの一つの形として、現在セーフコミュニティの取組を進めているところです。セーフコミュニティとは、WHO（世界保健機関）地域安全協働センターの認証制度であり、「生活の安心と安全を脅かすことがや事故は、原因を究明することで予防することができる」という理念のもと地域の実情をデータにより客観的に評価し、地域住民、行政などが力を合わせて取り組む活動を行っている地域のこととしています。

郡山市はこれからも統計データの積極的な利活用により、「安心して生活できる安全なまちづくり」、そして市民と共に更なる地域発展を目指していきます。

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計（二人以上の世帯）		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人 (Pは万人)	万人	%	円	H22=100	兆円	円	円	全国 H27=100	東京都区部 H27=100	
実数	H29. 6	126,766	6583	2.8	433,043	102.3	31.4	268,802	593,992	100.2	99.9	
	7	P 12675	6563	2.8	370,823	101.5	P 31.0	279,197	480,878	100.1	99.7	
	8	P 12677	6573	2.8	273,886	103.5	P 31.0	280,320	401,134	100.3	100.1	
	9	P 12667	6596	2.8	267,248	102.5	P 32.3	268,802	358,526	100.5	100.1	
	10	P 12672	6581	2.8	P 268,392	P 103.0	...	282,872	415,634	100.6	100.2	
	11	P 12672	P 100.6	
前年同月比	H29. 6	-	0.9	* -0.3	0.4	* 2.2	1.8	2.3	0.2	0.4	0.1	
	7	-	0.9	* 0.0	-0.6	* -0.8	P 1.5	-0.2	2.1	0.4	0.2	
	8	-	1.3	* 0.0	0.7	* 2.0	P 2.0	0.6	1.6	0.7	0.5	
	9	-	1.1	* 0.0	0.9	* -1.0	P 1.6	-0.3	2.3	0.7	0.5	
	10	-	0.9	* 0.0	P 0.6	*P 0.5	-	0.0	2.4	0.2	-0.1	

(注) P：速報値 *：対前月
 家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値
 サービス産業の月間売上高の前年同月比は、前年の調整値を用いて計算した値

掲示板 統計関係の主要日程 (2017年12月～2018年1月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
12月5日	登録調査員中央研修（～6日）	1月16日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門（1月）」開講（～17日）
11日	第86回基本計画部会	22日	統計研修 統計専門課程「産業連関表の作成・分析」開講（～26日）
19日	第117回統計委員会、第87回基本計画部会	下旬	第118回統計委員会、第88回基本計画部会

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
12月1日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）10月分（速報）公表	1月9日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年11月分）公表
〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）10月分速報）公表	12日	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）11月分）公表
〃	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）10月分、東京都区部：平成29年（2017年）11月分（中旬速報値））公表	〃	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年12月分公表
〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）10月分、東京都区部：平成29年（2017年）11月分）公表	22日	人口推計（平成29年8月1日現在確定値及び平成30年1月1日現在概算値）公表
8日	家計消費状況調査（支出関連項目：平成29年10月分）公表	26日	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）12月分及び平成29年（2017年）平均、東京都区部：平成30年（2018年）1月分（中旬速報値））公表
〃	小売物価統計調査（ガソリン）平成29年11月分公表	〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）12月分、東京都区部：平成30年（2018年）1月分）公表
12日	家計調査（家計消費指数：平成29年（2017年）10月分）公表	29日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）12月分）公表
13日	平成27年国勢調査 抽出詳細集計（従業地・通学地による抽出詳細集計を含む）公表	30日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）12月分、10～12月期平均及び平成29年（2017年）平均（速報）公表
15日	平成29年科学技術研究調査結果公表	〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）12月分速報）公表
20日	人口推計（平成29年7月1日現在確定値及び平成29年12月1日現在概算値）公表	〃	家計調査（貯蓄・負債編：平成29年（2017年）7～9月期）公表
22日	平成28年社会生活基本調査 詳細行動分類による生活時間に関する結果公表	31日	サービス産業動向調査（平成29年11月分速報）公表
25日	住民基本台帳人口移動報告（平成29年（2017年）11月分）公表	〃	サービス産業動向調査（平成29年8月分確報）公表
〃	平成28年経済センサス-活動調査 産業別集計-事業所に関する集計-「鉱業、採石業、砂利採取業」、「製造業」公表		
〃	平成28年経済センサス-活動調査 産業別集計-企業等に関する集計-「建設業及びサービス関連産業A」、「学校教育」公表		
26日	労働力調査（基本集計）平成29年（2017年）11月分（速報）公表		
〃	家計調査（家計収支編：平成29年（2017年）11月分速報）公表		
〃	消費者物価指数（全国：平成29年（2017年）11月分、東京都区部：平成29年（2017年）12月分（中旬速報値）及び平成29年（2017年）平均（速報値））公表		
〃	小売物価統計調査（全国：平成29年（2017年）11月分、東京都区部：平成29年（2017年）12月分）公表		
28日	サービス産業動向調査（平成29年10月分速報）公表		
〃	サービス産業動向調査（平成29年7月分確報）公表		
31日	統計トピックス 「戌年生まれ」と「新成人」の人口 -平成30年 新年にちなんで-公表		

編集発行  **総務省統計局**
 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1
 総務省統計局 統計利用推進課 情報提供第一係
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361
 E-mail y-teikyou@soumu.go.jp
 ホームページ <http://www.stat.go.jp>
 御意見・御感想をお待ちしております。